



冬号のテーマ

☆アトピー性皮膚炎と減感作療法☆腎臓病について
☆待合室の変更とお知らせ

2014年12月発行



アトピー性皮膚炎と減感作療法



アトピー性皮膚炎とは、本来は体に害をもたらさない花粉やハウスダストマイトなどの環境中に存在する物質(アレルゲン)に対して、体の防御機構である免疫が過剰に働くことによって起こる皮膚炎です。

皮膚の赤み、脱毛、痒み等の症状が、特に顔周りや耳、肢端、脇の下等に見られます。

治療

アトピー性皮膚炎ではステロイド剤を使用する事で痒みを抑えることができます。しかし、ステロイド剤は高用量で飲み続けると、副作用(多飲多尿や肝酵素上昇など)が出てきてしまいます。症例によってはステロイド剤を毎日飲まないで痒みが抑えられなかったり、投与量を下げる事ができない場合があります。その場合にはステロイド剤の副作用を低減させるためにシャンプー療法(当院ではマイクロバブルによりアレルゲンを毛穴の奥から取り除くことが出来ます)を併用して行ったり、薬に頼らない治療として減感作療法が必要になります。

減感作療法とは・・・?

減感作療法では、それぞれの個体でのアレルギーの原因物質(アレルゲン)を特定して、そのアレルゲンの入った注射(治療ワクチン)を作成します。アレルゲンを少しずつ量を増やしながら投与していき、体を徐々にアレルゲンに対して慣れさせていき、アレルギー反応を起こしにくい体になります。

治療の流れ

血液検査

始めに、その個体のアレルゲンを特定するための検査を行います

治療ワクチン

血液検査の結果により、その個体専用の治療用ワクチンを作成します



減感作療法開始

投与スケジュールに従って、治療ワクチンを投与していきます

減感作療法を実際に行ったナナちゃんのご紹介

ナナちゃんはアトピー性皮膚炎の治療として、ステロイド薬などを使用していましたが、なかなかお薬を減らすことが出来ない状態でした。

減感作療法を開始し、2ヶ月頃から改善がみられ、今ではすっかり良くなりました！！

before



after



高齢期に注意したい！腎臓病



腎臓は、老廃物を排泄したり、血圧の調整やホルモンの産生など非常に大事な機能を持っています。

ワンちゃんや猫ちゃんは**高齢になると腎臓の機能が低下**して、慢性の腎臓病になることが良くあります。

しかし**腎臓の機能がおよそ1/4以下まで減少しないと血液検査で異常を示しません**。一度機能を失った腎臓は**二度と再生できません**。従って早期に異常を発見することが最も重要になります。

尿検査では血液検査よりも**早期の変化(尿比重、尿蛋白など)を評価**できます！

症状とご家庭でのチェックポイント

- ✓ **多飲**: 健康な時に比べて水を多く飲むようになった
- ✓ **多尿**: 色の薄いおしっこをたくさんする
- ✓ **食欲減退**: 食欲が落ちてきた
- ✓ **体重減少**: 以前に比べ体重が落ちてきた
- ✓ **嘔吐**: 猫草や毛玉以外にも吐く頻度が増えた



健康な子の尿



薄い尿

➡ **1つでも気になる項目があれば当院にご相談下さい！**

※これらの症状は腎臓病以外の疾患でも見られます。
必要な検査をしてどこが悪いかを調べましょう。



特に腎臓病は早期発見、早期治療が最も重要です！

1月2月は7才以上の子を対象に**シニアキャンペーン(健康診断)**を行っています！

この期間にわんにゃんドックを受けてもらうと**特典**が付きます！！

※詳細はお気軽にスタッフまでお尋ね下さい

《優先席のご案内》

当院では入口を入れて**右側をわんちゃん優先席、左側をねこちゃん優先席**とさせていただくことになりました。皆様のご協力をお願い申し上げます。



これが目印です！

《ねこちゃん用目隠し》

お待ちの間、ねこちゃんの緊張を和らげるため、**目隠し用タオル**をご用意しております。ケージに被せてご利用ください。



《年末年始について》

12月31日午後～1月4日まで病院をお休みさせていただきます。

(急患は当直獣医師が対応致します)

年末はフードメーカーが休みのため**注文は12月20日まで**にお願い致します。

年末年始はホテルが大変混み合いますので、ご予約はお早めをお願い致します。

尚、**12月20日～1月10日はホテル料金がハイシーズン料金**となります。

(1日につき**¥648**加算されます)